

北魚沼 あぜ道情報

稲刈りを終えて穏やかな日々
美味しい新米を求めて訪れる多くの方々
「飽き」の来ない魚沼の秋



田んぼを耕す
前の状態です。



田んぼを耕した
後の状態です。

季節の変わり目の11月を向かえました。魚沼は「肌寒い」を通り越し、長袖が必要な「寒い」時期の訪れです。寝るときには、毛布と布団は必須アイテムになるシーズンの到来でもあります。今年初雪が例年よりも早いとの噂もありますので、冬支度もそろそろかと思う今日この頃です。

さて、北魚沼地域の収穫作業は終わり、繁忙期とほうって変わって、穏やかな時期となりました。農家さんは、来年の春作業に向けた準備を着々と進めております。その作業というのが、再度田んぼを耕すことと、稲刈りの際に残ったわらを腐らせて、田んぼの肥やしにしておくことです。この作業が来年度のお米の品質維持、また向上にも繋がります。

10月に入りますと、全国各地から北魚沼の新米を求めて、多くの方が魚沼を訪れます。北魚沼の地で育ったお米の良さ、そしてこの地域にも負けない美味しさが、昨年以上に全国的に知れ渡ってきているのだと実感できます。

また、JA北魚沼の直売所「百菜花ん」でも新米フェアが行われたり、魚沼のとれたて秋野菜が販売されており、魚沼のとれどき、食べてよしの秋の魚沼に遊びに来てください。

ところで、新米はいつからベテラン米になるのでしょうか。それは、収穫年の年末までに精米・梱包されたお米に限られています。年初から春頃まで、新米として販売しているお店もございますが、年が変われば「新米」とは呼びません。新米は水分が多く、香りが良いのが特徴です。ベテラン米になれば、更に頼もしく、立派なお米に成長します。新米とはまた異なった大人な味わいを楽しむことができるでしょう。



JA北魚沼 大農業祭 情報

10月17日（土）にJA北魚沼大農業祭が行われました。野菜の販売や果物の詰め放題、新米を使ったお菓子やお餅、トン汁、魚沼で育てたそばの実で作ったそばが無料で振舞われました。この日は朝から天気にも恵まれ、多くのお客様が来場され、どこかの出店コーナーも大盛況で、長蛇の列ができました。また、ステージでは、地元の演芸グループのパフォーマンスや国民的人気ヒーローのヒーローショーが行われ、大農業祭を更に盛り上げてくれました。実りの秋にこの大農業祭を開催できるのもJA北魚沼をご利用いただいております多くのお客様のおかげであります。これからもご愛顧よろしくお願ひ致します。



秋は美味しいものがたくさん収穫される季節。「食欲の秋」とも言いますね。しかし、食べればかりの秋ではありません。私の住む地域では体育の日の前日に毎年、地域対抗の運動会が開催されます。若者男女問わず優勝目指して頑張ります。なぜそんなに頑張るのか。それは、優勝しながらかからず、その後の慰労会が楽しみだからです。焼肉をしながらお酒を飲むのが、魚沼地域では焼肉と言え、豚のホルモン（モツ）を食べる習慣があります。なので「焼肉をする」とはなく、「モツ焼きをする」と言います。結局「食欲の秋」ですね。

編集後記



《地域情報》 堀之内地区

お神送り・お神迎え

毎年全国の神々は、出雲大社に集合し、縁結びの相談を1カ月間に渡って行うといわれています。その際、近郷の神様がいったん皇大神宮に集まって出雲大社に出發すると伝えられています。出發する11月1日を「お神送り」、帰ってくる12月1日を「お神迎え」として古くから神様を送迎する参拝者、良縁を願う男女が訪れています。お神送りの日には「大々神楽奉奏」など古式ゆかしい行事が執り行われ、お神送り・お神迎えともに「露天市」が立ちます。

精米センター受付時間のご案内

「平日」は8時30分から17時30分まで。「土・日・祝日」の発送及び電話受付はお休みとさせていただきます。ご迷惑をお掛けしますがご理解願ひます。